

平成19年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の  
点検及び評価報告書

石川県教育委員会

## はじめに

高度情報化、国際化、少子高齢化などを背景に、国民の意識や価値観、ライフスタイルが多様化しており、社会の各分野において大きな転換期にあります。教育においても、家庭や地域社会の教育力の低下、児童生徒の規範意識や道徳心の低下、いじめ・不登校など、様々な課題に直面しています。

こうした中、国においては一昨年の教育基本法の改正に続き、教育関連三法の改正、指導要領の改訂など、教育改革の取り組みを加速しており、地方においても、なお一層の取り組みが求められています。

県教育委員会においては、このような動向を踏まえつつ、新長期構想に掲げる「未来を拓く心豊かな人づくり」を目指すとともに、平成19年度においては、本県教育の指針として策定した「石川の学校教育振興ビジョン」、「石川県生涯学習振興ビジョン」及び「石川のスポーツビジョン」が掲げる目標の実現に向け、「学校教育の充実」、「心の教育の充実」、「生涯学習の振興」、「文化財の保護」及び「スポーツの振興」を5つの柱として諸施策に積極的に取り組んだところであります。

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、平成19年度の教育委員会の取り組みについて点検評価し、金沢大学学校教育学類田邊俊治教授と北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究調査センター竹内新也教授からご意見をいただき、まとめたものであります。

県教育委員会としては、点検・評価の実施を通じて施策の検証と改善を絶えず図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいりたいと考えています。

平成20年12月

石川県教育委員会

## 目 次

### 1 事務の点検評価

#### 施策1 学校教育の充実

1	活力あふれる新しい石川の教育の創造	1
2	確かな学力を育む教育の推進	2
3	特別支援教育の充実	4
4	教職員の研修の充実	4
5	学校体育・健康教育の推進	5
6	児童・生徒の安全確保対策の推進	6
7	教育環境の整備充実	6

#### 施策2 心の教育の充実

1	いじめ・非行防止・不登校対策の充実	8
2	家庭・地域の教育力の向上	9
3	生きる力を育む教育の推進	9

#### 施策3 生涯学習の振興

	生涯学習の振興	10
--	---------	----

#### 施策4 文化財の保護

1	文化財の保存・活用	12
2	埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用	13

#### 施策5 スポーツの振興

1	生涯スポーツの普及・振興	14
2	競技スポーツの充実・強化	14
3	スポーツ施設の整備充実	15

### 2 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

(1)	教育委員会会議	16
-----	---------	----

(2)	教育委員の主な活動	16
-----	-----------	----

## 施策 1 学校教育の充実

ふるさと石川の文化や風土を生かしながら、一人一人に確かな学力と豊かな人間性をはぐくむとともに、発展的な学習を通して、個性や創造性を伸ばし、たくましい気概を持った、創造性あふれる児童生徒の育成を目指して、創意工夫する活力あふれる学校づくりを推進する。

### 1 活力あふれる新しい石川の教育の創造

#### 平成19年度の主な取組

「いしかわ教育の日」の啓発推進（2,500千円）

- ・教育の日記念大会の開催  
日時 平成19年11月1日  
場所 石川県文教会館  
内容 記念式典（いしかわ教育功労者表彰等） 記念講演、生徒による合唱
- ・各教育事務所でのタウンミーティングの開催  
日時 平成19年11月1日～7日の間  
場所 県内4カ所  
内容 学校、家庭、地域社会の代表者による意見交換等
- ・学校における家庭・地域社会と一体となった事業展開  
公開授業、意見交換会等の実施
- ・シンボルマークの一般公募

学力向上教育改革推進会議の開催（3,660千円）

- ・学力向上策や県立学校の活性化策等について専門的な検討・協議を実施  
委員20人 開催回数5回
- ・「県立高等学校の活性化に関する提言」の策定

「県立高等学校の活性化推進計画」の策定（ - 千円）

- ・生徒同士が互いに切磋琢磨できる、よりよい教育環境を全県に等しく確保

石川の学校教育振興ビジョンの推進（40,805千円）

- ・県立学校教育・部活動活性化事業の推進  
大聖寺実業高等学校以下38校2分校
- ・小・中学校におけるエネルギー教育の推進  
金沢市、白山市

#### 評価

「いしかわ教育の日」については、標語・ポスターの募集に加え、新たにシンボルマークを募集しました。また、「いしかわ教育ウィーク」については、参加学校数が増え、平成19年度は全ての県立学校及び市町立小中学校において、公開授業、学校公開、意見交換などの取り組みが実施されました。

学力向上や県立学校の活性化を進めるため、学識経験者や経済界、保護者などを委員とする有識者会議からの提言や、パブリックコメントに寄せられた県民の意見などを踏まえ、「県立高等学校の活性化推進計画」を策定しました。今後は、この計画を着実に実施していきたいと考えています。

「石川の学校教育振興ビジョン」の迅速かつ効率的な具現化と特色ある学校作りを推進するため、それぞれの学校が工夫を凝らした教育活動や部活動を通し、学校の活性化を図っていますが、5年が経過したことから、新しい視点を加えた取り組みが必要であると考えています。

## 2 確かな学力を育む教育の推進

### 平成19年度の主な取組

学力向上のための少人数学級の実施（ - 千円）

小学校1・2年の35人を超える学級を対象に、担任と支援講師によるチーム・ティーチング指導と35人学級のいずれかを選択できる制度の実施

大学連携による教員の養成・資質向上（2,000千円）

教員養成カリキュラム等に関する研究を行う教授の配置 1人  
大学教授によるゼミ形式の研修講座の開設 10講座

学校の組織運営に関する調査研究（644千円）

機動的な学校運営のための組織や教員評価のあり方などについての調査研究

小・中学校における学校評価システムの構築（4,621千円）

学校評価運営委員会の設置・運営、評価シートの作成等

小学校における英語活動の推進（3,914千円）

4拠点校における実践研究

小学校における理科実権や観察などの体験的学習の推進（13,881千円）

理科支援員等による小学校5・6年生の理科の授業の支援

基礎学力調査の実施（11,335千円）

小学校4・6年生、中学校3年生

教員の授業力向上対策の推進（3,129千円）

- ・ 熟練した指導方法を身につけた指導教員による若手教員への授業方法の伝授  
小・中学校の各教科ごと 計15グループ
- ・ 生徒による授業評価の実施  
全ての県立高等学校で実施

高校生のインターンシップの推進（3,671千円）

就業体験による職業観・勤労観の育成  
鶴来高等学校以下22校 1,495人

産業界のニーズに対応したものづくり人材の育成（17,707千円）

地域産業界と連携した生徒・教員の企業実習の実施等  
大聖寺実業、小松工業、工業高等学校

地域と連携した実践的な商業教育の推進（8,971千円）

小松商業高等学校における「ふるさと小松検定」の実施等

いしかわスーパーハイスクールの推進（5,272千円）

大学教授等による講義、課題研究での指導など質の高い発展的学習活動等への支援  
小松、金沢泉丘、金沢二水、金沢桜丘、七尾高等学校

外国人講師の招へい（279,163千円）

外国語指導助手58人

石川県育英資金

対 象				貸与月額	人数
				円	人
大学	1～3年			44,000	379
	4・5年			43,000	
	6年			41,000	
高専	1～3年	国公立	自宅	18,000	33
			自宅外	23,000	
	私立	自宅	30,000		
		自宅外	35,000		
4・5年			44,000		
高校	1～3年	国公立	自宅	18,000	351
			自宅外	23,000	
	私立	自宅	30,000		
		自宅外	35,000		
4年			18,000		
専修 (高等課程)	1～3年	国公立	自宅	18,000	34
			自宅外	23,000	
	私立	自宅	30,000		
		自宅外	35,000		
専修 (専門課程)	1～3年			44,000	

評価

小学校低学年の少人数学級や小学校3年以上の習熟度別少人数授業、複式学級での単式授業など、指導法の工夫・改善に関するニーズを踏まえて、教員の加配等を行いました。学校ごとの実情に応じた効果的な学習指導・生徒指導等が行われるよう、引き続き校長の意見を聞きながらきめ細かに対応していく必要があると考えています。

全小中学校において、基礎学力調査や全国学力・学習状況調査をとおして児童生徒の学力の状況を把握し、指導の改善に活かすよう努めました。県全体の傾向としては、基礎・基本の力に比べると、活用力に課題があり、活用力の育成が求められます。

このほか、「熟練教師に学ぶ授業力向上事業」などの各種研修をとおして、教員の指導力の向上を図ることができました。児童生徒の学力を高めるためには、教員の授業力の向上が不可欠であり、今後とも、充実した取組みを継続する必要があると考えています。

高等学校においては、望ましい職業観・勤労観を育成するため、専門高校では、地域産業界と連携したものづくり人材の育成や商業教育の推進に努めました。また、全日制高校では、インターンシップ事業を実施しており、将来についての展望を持った進路選択を行う生徒が増え、進学率や就職内定率もあがっています。今後とも、地元企業と連携し、継続して実施していきたいと考えています。

いしかわスーパーハイスクール事業は、学力の向上と同時に高い志や豊かな教養を兼ね備えた人材を育成する教育を推進・充実するため行われており、2期目に入り各高校が大学教授による講義、出前授業などを行い、発展的学習の成果をあげました。今後は、指定校が成果を他の高校に発表し、共有するという点において工夫が必要であると考えています。

### 3 特別支援教育の充実

#### 平成19年度の主な取組

- 総合養護学校の整備（1,103,679千円）  
知的障害棟・体育館の新築、屋外運動場の整備
- 県央南部総合養護学校（仮称）の整備（13,314千円）  
基本設計、地質・測量調査
- 高等学校における発達障害のある生徒への支援（686千円）  
専門家によるサポートチームの派遣等
- 障害のある生徒のインターンシップの促進（1,602千円）  
職業観・勤労観の育成、職業的自立の推進  
特別支援学校9校1分校
- 障害のある子の地域支援ネットワークの構築（1,977千円）  
個別の教育支援計画の策定等 特別支援学校10校3分校
- 特別支援教育の拠点化（3,260千円）  
小・中学校等への専門相談員の派遣等

#### 評価

特別支援教育の推進については、県内すべての小中高等学校に校内委員会の設置やコーディネーターの指名を求め、校内支援体制の整備を進めました。多くの小中学校等では、児童生徒の実態把握や支援策の検討、個別の支援シートの作成等に努めているところですが、今後一層、個に応じた的確な指導・支援が行われ、効果が表れるよう取り組みを充実させていきたいと考えています。

特別支援学校生徒一人一人の進路実現を図るため、作業学習の改善や職場実習の見直し等を行っており、一般就労率は増加の傾向にあります。生徒の働く力を高めるために、関係機関との連携を一層進め、就労支援の充実に取り組むことが必要であると考えています。

### 4 教職員の研修の充実

#### 平成19年度の主な取組

- 教師力向上のためのサポートシステムの検討（688千円）  
教職員研修体系のあり方の見直し
- 教職員研修の充実（37,551千円）  
初任者研修、10年経験者研修、若手・中堅研修等9事業  
企業の製造現場に教員を派遣し熟練技能を習得させる工業科教員資質向上研修の創設
- 教育センター研修事業の充実（7,807千円）  
・国語科研修講座等118講座 2,085人  
・情報教育推進リーダー育成研修講座 30講座 375人  
・教職員土曜スクールの開催  
授業改善等に関する自主研修講座 7講座 177人

評価

授業力や生徒指導などにおける問題解決能力などの向上を図り、学習指導や生徒指導、学級経営を効果的に行うためには、教員個々の努力を求めるだけでなく、教育委員会として研修の機会を提供しているところであります。

今後、講座の精選を図るとともに、平成18年度に導入した人事考課制度を能力開発に活かすことや、校内研修を充実していくという観点などからも研修体系の見直しが必要であると考えています。

5 学校体育・健康教育の推進

平成19年度の主な取組

児童生徒の体力アップの推進（1,854千円）

- ・全ての公立小中高等学校における体力アップ推進プランの実践
- ・体力アップの実践研究及び普及・啓発  
研究指定校 小学校5校、中学校5校

運動部活動等の活性化（6,962千円）

- ・運動部活動への地域指導者の派遣  
中学校85人、高等学校22人
- ・運動部活動アドバイザーの招へい  
アーチェリー1人、弓道1人、剣道2人

栄養教諭の配置（ - 千円）

学校教育活動全体を通じた食に関する指導の実施 11人

評価

学校体育の推進については、児童生徒の体力アップを図るため、小中高等学校全ての公立学校において平成19年度から新たに体力アップ1校1プランを実施したところであり、今後も児童生徒の実態に応じた取り組みを継続していきたいと考えています。

子どもたちが健全な食生活を実践することは、健康で豊かな人間性を育てていく基礎となるものであり、そのための食育を一層推進するには、食に関する指導の全体計画の策定、教職員間や家庭、地域との連携・調整等において中核となる栄養教諭の役割は重要と考えています。

## 6 児童・生徒の安全確保対策の推進

### 平成19年度の主な取組

放課後子ども教室の設置支援（6,554千円）

- ・推進委員会の設置、指導者研修会の開催
  - ・放課後子ども教室等の設置に対する助成
- 交付先 加賀市以下8市町

小学校の通学路安全確保対策への支援（21,491千円）

- ・学校安全ボランティア養成講習会 5地区 各1回
- ・学校安全指導員による巡回指導 学校安全指導員28人
- ・モデル地域の指定 宝達志水町

### 評価

子どもを取り巻く環境の変化が指摘される中、今後とも子どもの安全で健やかな居場所を確保するとともに、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取り組みを充実させることが必要であると考えています。

通学路の安全確保については、県内に28名の学校安全指導員を継続して配置し、県内全ての公立小学校区で組織されている学校安全ボランティア団体への指導助言を行うとともに、指導員自らも巡回活動を行うなど、地域の安全確保を図っており、声かけ等事案が平成19年度は、平成18年度に比べ18.6%減少するなど一定の成果も見られることから、今後も地域でのこうした取り組みを継続していく必要があると考えています。

## 7 教育環境の整備充実

### 平成19年度の主な取組

併設型中高一貫教育校の整備（937,745千円）

金沢錦丘中学校・高等学校の校舎等改築

高等学校の再編に伴う施設整備（24,593千円）

飯田、輪島、七尾東雲、小松北高等学校の校舎の内部改修等

校舎等の老朽化に伴う改築

- ・七尾高等学校の第1体育館改築、屋外運動場整備（605,381千円）
- ・寺井高等学校の第1体育館改築、格技場改修（249,340千円）
- ・金沢商業高等学校の基本構想策定（2,487千円）

校舎の耐震化（199,386千円）

小松工業、工業高等学校

産業教育設備の充実（98,321千円）

大聖寺実業高等学校以下17校

県立学校の災害復旧（407,960千円）

能登半島地震等により被災した県立学校の災害復旧工事  
輪島実業高等学校以下17校

**評価**

平成19年度末における県内公立高等学校の耐震化率は、71.4%（前年度末から5.9ポイント増加、全国平均64.4%）となっており、着実に耐震化は進んでいるが、今後とも、生徒が安心して学ぶことができるよう、学校施設の耐震化を積極的に進めていく必要があると考えています。

また、老朽化した校舎の改築や多様化する学習内容に対応した施設整備を推進し、引き続き教育環境の整備充実を図っていきたいと考えています。

**参考：施策指標の達成状況**

指 標	目標値	H17実績	H18実績	H19実績	達成状況
中学生の高等学校進学率	(H24) 全国上位維持	98.7% ( 3位)	98.5% ( 7位)	98.7% ( 3位)	
公立高校の就職内定率	(H24) 100.0%	95.7%	95.8%	96.1%	
基礎学力調査の正答率の向上	(H24) 70.0%	67.9%	66.4%	68.1%	
特別支援教育推進校率	(H24) 100.0%	47.1%	67.0%	100.0%	
新体力テスト総合評価での優れた者の割合	(H24) 50.0%	40.1%	42.8%	45.3%	
交通事故発生率（児童生徒の事故件数 / 児童生徒数）	(H24) 0.4%	0.50%	0.44%	0.42%	

( : 目標達成      : 目標未達成だがH19実績が前年度より改善      : 目標未達成でH19実績が前年度と同じまたは悪化 )

## 施策2 心の教育の充実

生命を尊重する心、他人への思いやりや社会性、倫理観や正義感、美しいものや自然に感動する心など、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもたちを育てるために、「心の教育 - 石川の提言 - 」の具現化に向け、心の教育の充実を図る。

### 1 いじめ・非行防止・不登校対策の充実

#### 平成19年度の主な取組

いじめを許さない学校づくりの推進等（109,103千円）

- ・いじめを許さない学校づくりの推進  
全公立学校における児童会・生徒会の自主的活動への支援
- ・不登校児童生徒の学校復帰支援  
教育支援センターの運営等
- ・スクールカウンセラーの配置 中・高等学校75校
- ・子どもと親の相談員の配置 小学校24校
- ・教育相談員の配置 中学校27校
- ・生徒指導推進協力員の配置 小学校7校
- ・生徒指導サポーターの配置 10人
- ・非行防止地域連絡会議の開催 18回
- ・いじめ相談テレホンの設置 常時相談員2人体制

いじめ・不登校に対する教員の適切な対応力の向上（3,000千円）

- 管理職のためのリスクマネジメント研修 287人
- いじめ対応実践講座 4,889人

カウンセラー教員の養成（1,167千円）

- 長期研修(1年)1人 短期研修(6カ月)24人

地域・家庭からいじめを防止する環境づくりの推進（5,997千円）

- 命の大切さを伝える映画の上映、高校生ボランティア講座の開催等

学校生活早期対応のための少人数学級の実施（ - 千円）

- 中学校1年において、級外教員を活用した35人学級を選択できる制度を実施

#### 評価

平成19年度はいじめの認知件数は、小中高等学校ともに前年度より減少し、各学校での未然防止に向けた指導や、児童生徒が主体となった取り組みによるものと思われます。ただし認知件数はあくまで学校が確認した数値であって、些細ないじめも見逃さないという姿勢が大切であり、教職員の一層の意識改革を図る必要があると考えています。

不登校は、前年度に比べ、小学校では横ばい、高校で減少していますが、中学校では増加し、過去最多となりました。不登校となった児童生徒へのカウンセリングや教育支援センター等における適応指導等の支援の充実に加えて、児童生徒の人間関係形成能力の育成や小中間、中高間の連携強化による未然防止、あるいは早期における学校全体での対応が求められています。

また刑法犯や不良行為などの少年犯罪は、県教委と県警が連携して子どもの問題に当たる「S & Pサポート制度」発足の平成15年以降減少傾向にありますが、学校内外における暴力行為は平成19年度は小中高等学校ともに増加しています。新学習指導要領における道徳教育の充実も視野に入れて、教育活動のあらゆる機会を捉え、また保護者や関係機関との連携を強化しながら、規範意識を一層醸成する必要があると考えています。

学校生活への早期適応を図るための中学校1年の少人数学級については、平成18年度から級外教員を活用して実施しているところですが、より実施しやすくするため、加配を行うなどの対応が必要であると考えています。

## 2 家庭・地域の教育力の向上

### 平成19年度の主な取組

豊かな心を育む教育の推進（14,502千円）

豊かな心を育む県民大会の開催、子どもと話そう石川キャンペーンの実施等

家庭教育の充実（16,583千円）

電話相談の実施、テレビ番組「げんき日記」の提供等

### 評価

県民挙げて子どもたちの豊かな心を育むため、平成19年度も豊かな心を育む県民大会を開催しました。いじめ、不登校など、子どもたちを取り巻く環境は依然として憂慮すべき状況にあり、引き続き、心の教育の充実に向け、県民意識の高揚を図ることが必要と考えています。

また、基本的な生活習慣・生活能力・豊かな情操・他人に対する思いやりなど、子どもの「生きる力」の基本的な資質を培う家庭の教育力の充実を図り、健やかに子どもを育てる家庭環境を整えるため、家庭教育を支援することが必要であると考えています。

## 3 生きる力を育む教育の推進

### 平成19年度の主な取組

地域と共に「わく・ワーク体験」の実施（4,001千円）

職場体験・ボランティア活動の実施

中学校2年生 10,805人

豊かな体験学習の実施（12,168千円）

長期宿泊体験活動や仲間と学ぶ宿泊体験活動等の実施

体験し感動する教育の推進（3,449千円）

洋上スクール体験学習

2泊3日3航海 1日コース1航海 小・中学生132人

### 評価

わく・ワーク(work)体験や宿泊体験活動など、豊かな体験活動を実施しました。今後とも、児童生徒の豊かな人間性や社会性を育むための体験活動をさらに充実させることが必要と考えています。

### 参考：施策指標の達成状況

指 標	目標値	H17実績	H18実績	H19実績	達成状況
公立学校の中途退学率	(H24) 全国上位	1.90% (26位)	1.80% (15位)	1.84%	
いじめ発生件数	(H24) 1,000件	- 件	3,577件	2,072件	
不登校児童生徒数	(H24) 700人	1,511人	1,668人	1,672人	
児童生徒の暴力行為件数	(H24) 50人	135人	133人	190人	
豊かな心を育む事業参加者数	(H25) 44,000人	53,779人	65,119人	81,358人	
学校・家庭・地域の連携推進事業参加者数	(H25) 90,000人	106,052人	111,443人	137,555人	

( : 目標達成      : 目標未達成だがH19実績が前年度より改善      : 目標未達成でH19実績が前年度と同じまたは悪化 )

### 施策3 生涯学習の振興

県民の学習意欲の高まりと多様化するニーズに応え、一人一人が思いやりと生きがいに満ちた生活を創造できるよう、学習機会の拡充や学習情報の提供充実を図るとともに、生涯学習振興のための諸条件の整備に努める。

#### 平成19年度の主な取組

県民大学校の充実（41,866千円）

45専門講座、855教養講座、石川の博士養成講座4講座  
入校者6,590人 修了者668人

社会教育団体への助成（18,260千円）

交付先 石川県青年団協議会以下19団体

人権教育の推進（6,921千円）

指導者の研修9回、啓発資料の作成2,500部 市町、社会教育団体へ配布等

全国人権・同和教育研究大会の開催支援（6,068千円）

交付先 第59回全国人権・同和教育研究大会石川県実行委員会  
開催期間 平成19年11月23日～24日  
場所 石川県産業展示館4号館ほか  
参加人数 12,766人

いしかわ子ども自然学校の推進（12,542千円）

個人参加型96プログラムの展開等

自然史資料館の充実（179,453千円）

教育普及プログラム18回、企画展示開催等  
展示設備等の整備

図書館の充実

- ・図書資料の充実 22,108点（42,500千円）
- ・図書館マルチ検索・予約システムの運営（26,165千円）  
県内公共図書館の横断的検索システムの運営等

生涯学習センターの充実（1,468千円）

- ・視聴覚ライブラリーの充実 94点

#### 評価

学習機会の充実を図るため、石川県民大学校では、市町、大学、民間教育機関等と協力し、「石川の博士」養成講座を実施するなど、様々な講座を開催し、学習機会を提供しました。引き続きアンケート調査などを実施し、講座の充実を図るなど、県民の学習成果の活用を支援していきたいと考えています。

自然史資料館では、自然史資料の活用を図るため、「自然たんけん広場」や「物理たいけん教室」などの展示施設の整備を行いました。

引き続きこれらの施設を活用し、展示内容の充実を図っていくことが必要と考えています。

県民の多様な学習を支援するため、県立図書館では基本図書及び地域関係資料の充実に努めるとともに、利用者の利便性を高めるため、図書館マルチ検索・予約システムを運営しています。これからも、利用者のニーズを把握し、機能の充実を図っていくことが必要と考えています。

参考：施策指標の達成状況

指 標	目標値	H17実績	H18実績	H19実績	達成状況
県立生涯学習施設の利用者数	(H25)353,000人	345,466人	363,679人	364,135人	
県民大学校修了者数	(H25) 15,000人	9,968人	10,721人	11,389人	

( : 目標達成      : 目標未達成だがH19実績が前年度より改善      : 目標未達成でH19実績が前年度と同じまたは悪化 )

## 施策4 文化財の保護

本県の個性豊かな歴史と文化を物語る文化財を大切に保存するとともに、積極的に公開・活用を図り、さらに次世代に継承させていくため、世界遺産登録に向けた取り組み、文化財の掘り起こしや調査研究を進めるほか、文化財を支える人材の養成・確保など保存伝承基盤の整備を図る。また、埋蔵文化財の発掘調査を促進し、調査成果の公開と活用を図る。

### 1 文化財の保存・活用

#### 平成19年度の主な取組

金沢城の調査研究（33,005千円）

- ・埋蔵文化財、絵図・文献、建造物、石垣の調査研究及び資料のデータベース化
- ・石垣構築技術の研究
- ・金沢城史料叢書「絵図でみる金沢城」等の刊行等

金沢城石川門の保存修理（106,788千円）

附属右方太鼓堀解体修理

世界遺産登録への取り組み（18,855千円）

- ・文化遺産学術調査委員会の設置
- ・未指定文化財の調査支援  
寺町寺院群地区、白山山頂遺跡等

近代化遺産の調査（4,000千円）

江戸末期以降の建造物等の近代化遺産の詳細調査及び調査報告書刊行  
七ヶ用水以下113件

文化財の保存修理等への助成（81,620千円）

交付先 金沢市以下10市町、22団体、6人

漆芸技術伝承者の養成（36,857千円）

輪島漆芸技術研修所における人間国宝の技術伝承者養成のための研修  
普通研修課程35人、特別研修課程23人

#### 評価

本県の歴史・文化を反映した有形・無形の文化財の適切な保存・管理及び積極的な公開・活用に取り組みました。

また、平成19年3月の能登半島地震により被災した文化財についても、速やかに修復・復原について支援することができました。

文化財の掘り起こしと調査に努めたことにより、平成19年度には、天徳院山門や白山比咩神社本殿など8件の有形文化財を県指定としたほか、これまでの調査・研究の成果により、新たに2件の文化財が国指定とされ、旧小松警察署庁舎など23件の建造物が国の登録有形文化財となりました。

また、新たな文化財の調査として、近代化遺産に関する調査を行いました。

引き続き、文化財指定を視野に入れた有形・無形の文化財調査を推進し、あわせて文化財の適切な保存・管理を行い、県民が地域に対して愛着や誇りが持てるよう、市・町や所有者の協力も得て文化財の公開・活用に努めていく必要があると考えています。

## 2 埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用

### 平成19年度の主な取組

埋蔵文化財発掘調査の促進と公開・活用（417,872千円）

- ・調査の促進  
国土交通省等の公共事業に伴う発掘調査
- ・公開と活用  
県埋蔵文化財センターでの古代ふれあい体験イベント等開催  
「ふるさと・いしかわの遺跡」刊行 県内小学校等へ配布

### 評価

国土交通省などから依頼された、開発行為等に伴う埋蔵文化財の調査について対応しました。今後とも引き続き、効率的な調査に努め、調査要望に対応していくとともに、適切な記録保存を行っていく必要があると考えています。

埋蔵文化財の公開・活用については、埋蔵文化財センターにおいて、「加賀郡ぼう示札」を始めとする発掘成果を展示公開し、また、新たな体験メニューを盛り込むなど、積極的に体験学習の機会を提供しました。

今後も、ふるさとの埋蔵文化財に対する理解と関心を深めていくため、埋蔵文化財センターを中心とした各種普及啓発事業の継続実施とその周知を進めていく必要があると考えています。

### 参考：施策指標の達成状況

指 標	目標値	H17実績	H18実績	H19実績	達成状況
県指定有形文化財指定件数	(H22) 315件	295件	303件	311件	
県指定無形文化財指定件数	(H22) 25件	20件	21件	20件	
埋蔵文化財センター入館者数	(H22) 12,000人	11,227人	11,353人	14,444人	

( : 目標達成      : 目標未達成だがH19実績が前年度より改善      : 目標未達成でH19実績が前年度と同じまたは悪化 )

## 施策5 スポーツの振興

児童生徒の健康の増進や体力の向上を図り、生涯にわたる健康生活の基盤を培うとともに、県民のスポーツに対するニーズの多様化に応えるため、生涯スポーツの普及・振興を図る。

また、「スポーツ石川」の競技水準の向上を目指すため強化事業の推進や指導者の育成を図るなど体育・スポーツの環境整備に努める。

### 1 生涯スポーツの普及・振興

#### 平成19年度の主な取組

広域スポーツ支援センター事業の推進（3,435千円）  
スポーツ情報ネットワークシステムの運用等

県民スポーツ・レクリエーション祭の開催（6,370千円）

日 時	平成19年4月29日～11月25日
場 所	金沢市以下17市町
内 容	種目別大会及びニュースポーツ体験広場の実施等

#### 評価

生涯スポーツの振興については、県民の体力の向上と健康増進に向け、それぞれがライフステージに応じてスポーツに親しむことを推奨しており、その実践の場として、県下全域において、さまざまなスポーツ種目が体験できるよう県民スポーツ・レクリエーション祭を開催し、県民生活に活力を与えてきたところであり、平成19年度は前年を1,300人余り上回る17,079人の参加がありました。今後も参加者の増加に努力していきたいと考えています。

### 2 競技スポーツの充実・強化

#### 平成19年度の主な取組

選手強化事業の推進（222,354千円）  
国体選手強化、一貫指導ジュニア育成、中学生・高校生選手強化

全国中学校体育大会に向けた4競技の強化（5,000千円）  
石川県開催種目 スキー、バレーボール、柔道、相撲

全国中学校スキ - 大会の開催支援（12,850千円）

日 時	平成20年2月1日～2月4日
場 所	白峰温泉スキー場等

駅伝特別強化事業の推進（3,500千円）  
代表校の強化 中・高校とも男女各1校  
石川県選抜チームの強化

いしかわっ子金沢城駅伝交流大会の開催（2,000千円）

日 時	平成19年11月3日
場 所	金沢城公園内特設周回コース
参 加 者	男子57チーム、女子50チーム

全国大会等への派遣費助成（61,092千円）  
国民体育大会への選手団派遣費等

評価

競技力の向上については、国体選手の強化はもとより、平成15年度から本県独自に作成した競技別一貫指導プログラムを活用して小学生から高校生まで指導する一貫指導ジュニア育成事業に取り組むなどの競技力向上策を実施しています。今後は、新たに整備した「いしかわ総合スポーツセンター」の科学的トレーニング機能を活用した特別強化事業も実施することとしており、競技力向上に一層努力していきたいと考えています。

3 スポーツ施設の整備充実

平成19年度の主な取組

いしかわ総合スポーツセンターの整備（平成20年4月開館）（6,216,387千円）

整備概要 敷地面積 約52,000㎡ 延床面積 24,353㎡  
総事業費 約125億円 主体構造 SRC造3階建

屋内相撲場の整備（平成20年10月開館）（95,103千円）

整備概要 敷地面積 約8,500㎡ 延床面積 917㎡  
総事業費 約1億6千万円 主体構造 鉄骨造（一部RC造）平屋建

県立体育・スポーツ施設の管理運営（159,097千円）

県立体育施設の維持管理 県立体育館以下9施設

評価

「競技力の向上」と「生涯スポーツ社会の実現」を目指し、本県スポーツ振興の中核的拠点施設として平成17年から整備を進めてきた「いしかわ総合スポーツセンター」が平成20年3月に完成しました。（平成20年4月に開館）

また、旧体育館の屋内相撲場の代替施設として、剣道・柔道など日本古来の武道競技を一元的に集約するため、県立武道館敷地内に整備を進めてきた屋内相撲場も平成19年9月に着工しました。（平成20年10月に開館）

今後は、これら新設施設については、整備目的に沿って、その役割を果たしていきたいと考えています。

参考：施策指標の達成状況

指 標	目標値	17実績	H18実績	H19実績	達成状況
県民スポーツ・レクリエーション祭参加者数	(H27) 18,000人	16,235人	15,727人	17,079人	
スポーツ指導者数	(H27) 2,000人	-	1,586人	1,787人	

( : 目標達成 : 目標未達成だがH19実績が前年度より改善 : 目標未達成でH19実績が前年度と同じまたは悪化)

## 教育委員会会議及び教育委員の主な活動

### 1 教育委員会会議 15回開催（開催日及び審議決定事項 次頁）

（議案 58件）  
（報告事項 31件）

### 2 教育委員の主な活動（視察、各種行事等）

月 日	内 容
H19. 4. 2	事務局職員辞令交付式
H19. 4. 2	新規採用教職員辞令交付式
H19. 5.11	石川縣市町教育委員会連合会定期総会
H19. 6. 1	永年勤続退職者知事感謝状贈呈式
H19. 7.20	全国都道府県教育委員会連合会総会
H19.10. 5	石川縣市町教育委員会連合会研究大会
H19.10.13	小松明峰高等学校創立30周年記念式典
H19.10.28	七尾東雲高等学校竣工式
H19.11. 1	「いしかわ教育の日」記念大会
H19.11. 2	学校視察（県立金沢錦丘中学校・高等学校）
H19.11.19	永年勤続職員表彰式
H19.11.19 ～20	東海北陸ブロック教育委員全員協議会
H19.12.18	施設視察（いしかわ総合スポーツセンター）
H20. 1.21	全国都道府県教育委員会連合会総会
H20. 2. 7	公安委員との意見交換会
H20. 2. 7	知事との意見交換会
H20. 2.14	北陸三県教育委員全員協議会
H20. 2.16	輪島漆芸技術研修所40周年記念式典

平成19年度教育委員会議開催状況

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
平成19年第8回 （H19. 4. 1）	議案第22号 平成19年度教科用図書選定審議会委員の変更について
平成19年第9回 （H19. 4.20）	議案第23号 文化財の県指定について 議案第24号 平成20年度使用教科書の採択方針について 議案第25号 学力向上教育改革推進会議委員の任命について 議案第26号 石川県公立学校教職員健康管理審査会委員の委嘱（任命）について 議案第27号 石川県社会教育委員の委嘱（任命）について 議案第28号 教職員の人事について ----- 報告第1号 能登半島地震における公立学校施設等の被害状況及び対応について 報告第2号 平成19年度石川県立金沢錦丘中学校及び石川県公立高等学校における入学者選抜結果について 報告第3号 平成18年度全国高等学校選抜大会の成績について 報告第4号 県立学校における敷地内禁煙について
平成19年第10回 （H19. 5.22）	議案第29号 平成20年度石川県公立高等学校等第1学年入学者選抜方針について 議案第30号 石川県就学指導委員会委員の委嘱（任命）について 議案第31号 石川県立図書館協議会委員の委嘱について 議案第32号 石川県生涯学習審議会委員の委嘱（任命）について 議案第33号 石川県スポーツ振興審議会委員の任命について ----- 報告第1号 人事異動について 報告第2号 平成20年度石川県公立学校教員採用候補者選考試験について 報告第3号 平成19年度石川県公立学校教員（栄養教諭）採用候補者特別選考試験について
平成19年第11回 （H19. 6. 5）	議案第34号 平成19年第3回石川県議会定例会提出予定案件について 議案第35号 石川県優秀教員審査会委員の委嘱（任命）について 議案第36号 石川県産業教育審議会委員の委嘱（任命）について 議案第37号 特別支援学校等において使用する「平成20～23年度用一般図書調査研究資料」の作成について
平成19年第12回 （H19. 6.18）	議案第38号 学力向上教育改革推進会議委員の任命について 議案第39号 指導力判定委員会委員の委嘱（任命）について 議案第40号 石川県生涯学習審議会委員の委嘱について 議案第41号 石川県社会教育委員の委嘱について 議案第42号 石川県立生涯学習センター運営審議会委員の委嘱（任命）について 議案第43号 石川県立図書館協議会委員の委嘱について 議案第44号 教職員の人事について ----- 報告第1号 平成20年度石川県公立学校教員採用候補者選考試験等の志願状況について 報告第2号 平成20年度公立高等学校学力検査2日目の検査科目等について ----- （委員長選挙）

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
平成19年第13回 （H19. 7.17）	議案第45号 地方自治法第180条の2の規定に基づく協議について 議案第46号 公の施設に係る指定管理者制度の導入等に伴う関係規則の整備について 議案第47号 石川県産業教育審議会委員の委嘱について ----- 報告 平成19年3月石川県公立高等学校（全日制）卒業者の進路状況について
平成19年第14回 （H19. 8.20）	議案第48号 指導力不足教員の研修等の後の措置について 議案第49号 教職員の人事について ----- 報告 教職員の人事異動について
平成19年第15回 （H19. 9. 6）	議案第50号 平成19年第4回石川県議会定例会提出予定案件について ----- 報告第1号 学力向上教育改革推進会議の審議状況について 報告第2号 第28回北信越国民体育大会等における本県選手団の成績について
平成19年第16回 （H19.10.15）	議案第51号 県立高等学校の活性化推進計画について 議案第52号 平成20年度石川県公立高等学校第1学年入学者選抜方針の一部変更について 議案第53号 平成20年度県立学校第1学年入学者の募集定員について 議案第54号 石川県立高等学校規則及び石川県立特別支援学校規則の一部改正について 議案第55号 平成19年度石川県優秀教員の決定について ----- 報告第1号 教育委員会規則の改正に係る専決処分の報告について 報告第2号 平成20年度石川県公立学校教員採用候補者の選考結果について 報告第3号 第62回国民体育大会における本県選手団の成績について
平成19年第17回 （H19.11.21）	議案第56号 石川県立特別支援学校の分校設置について 議案第57号 平成19年第5回石川県議会定例会提出予定案件について 議案第58号 石川県体育施設管理規則の一部を改正する規則の施行期日を決める規則の制定について 議案第59号 平成20年度教職員人事異動方針及び実施要領について 議案第60号 人事について ----- 報告第1号 平成19年度全国学力・学習状況調査の結果について 報告第2号 平成19年度基礎学力調査の結果について 報告第3号 平成20年度石川県公立高等学校第1学年入学者選抜に係る推薦入学実施校における推薦枠について
平成19年第18回 （H19.12.18）	議案第61号 平成20年度県立七尾養護学校輪島分校高等部第1学年入学者の募集定員について 議案第62号 石川県立特別支援学校規則の一部改正について 議案第63号 文化財の県指定について 議案第64号 教職員の人事異動について

回（開催日）	審 議 決 定 事 項
平成20年第1回 （H20. 1.24）	議案第1号 財団法人金沢立正会の解散及び残余財産の処分の許可について 議案第2号 一般行政職員に係る平成20年4月定期人事異動方針について ----- 報告第1号 平成19年度「全国学力・学習状況調査」報告書について 報告第2号 世界遺産推進の取り組みについて 報告第3号 平成19年度全国中学校駅伝大会等の成績について
平成20年第2回 （H20. 2. 7）	議案第3号 財団法人白山市体育施設管理公社の解散及び残余財産の処分の許可について 議案第4号 平成20年第1回石川県議会定例会提出予定案件等について ----- 報告第1号 平成19年度石川県立学校卒業式に係る石川県教育委員会告辞について 報告第2号 平成19年石川県優良部活動指導者表彰(知事表彰)について 報告第3号 第45回全国中学校スキー大会の成績について 報告第4号 平成19年度児童生徒の体力・運動能力調査結果について 報告第5号 屋内相撲場の建設工事について
平成20年第3回 （H20. 3.12）	議案第5号 指導力不足教員の決定等について 議案第6号 人事異動について ----- 報告第1号 平成19年度石川県社会教育委員の会議における意見の概要について 報告第2号 第63回国民体育大会冬季大会における本県選手団の成績について
平成20年第4回 （H20. 3.19）	議案第7号 教育長に対する権限委任規則の一部改正について 議案第8号 石川県教育委員会事務局等組織規則等の一部改正について 議案第9号 指導が不適切である教諭等の認定等に関する規則の制定について 議案第10号 学校教育法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則について 議案第11号 石川県教育委員会事務局等職員旅費取扱規程及び石川県公立学校職員旅費取扱規程の一部改正について 議案第12号 石川県公立学校教職員健康管理審査会委員の委嘱について 議案第13号 平成20年度石川県教科用図書選定審議会委員の委嘱(任命)について 議案第14号 銃砲刀剣類登録審査委員の委嘱について 議案第15号 人事異動について ----- 報告第1号 精神疾患による休職教職員のための職場復帰訓練制度の導入について 報告第2号 人事異動について